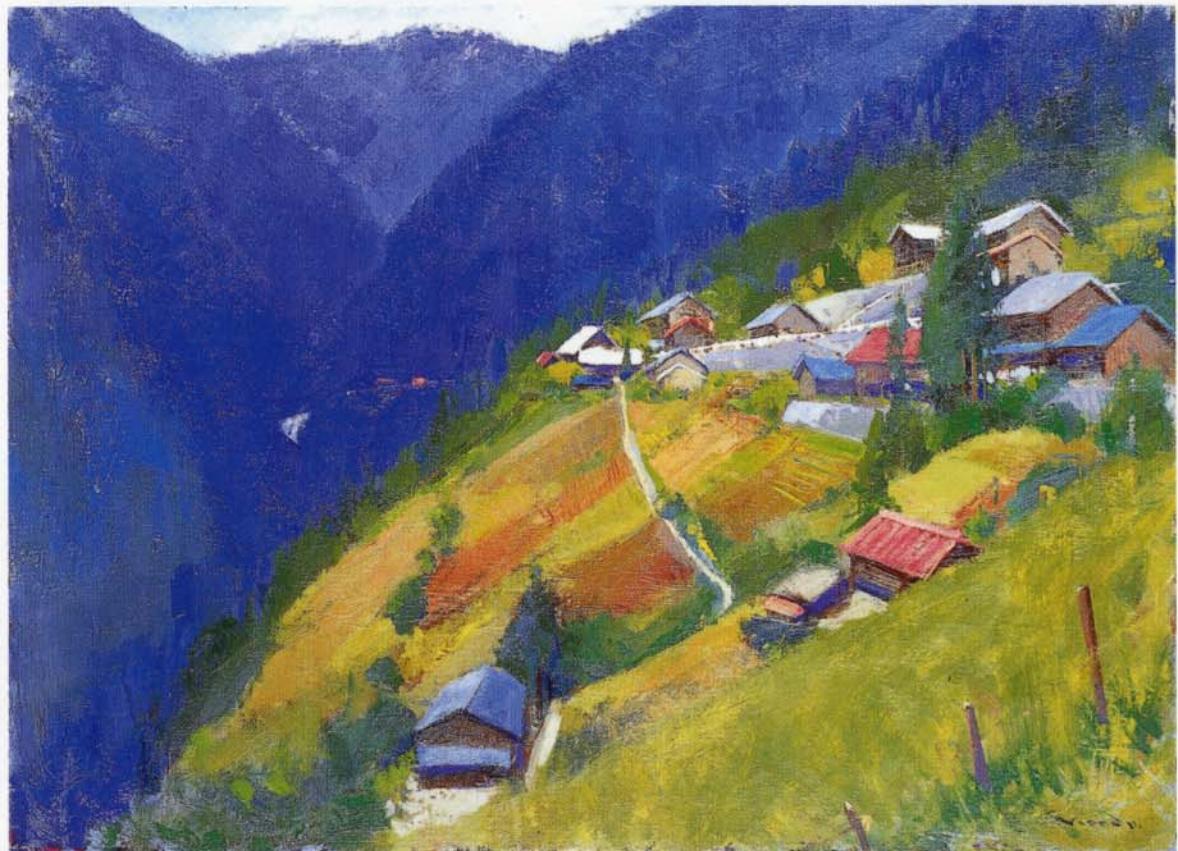


# 秩乃杜

秩父神社社報  
柞乃杜(ははそのもり)

第 23 号

平成13年7月20日  
(川瀬祭)



啄木

山にはあれど  
目にあれし  
秋来れば  
神也住むむヒ  
畏みてみる

## 古くて新しい「天王柱立て神事」

真夏の到来を告げる秩父の夏祭りが、ことしも宵宮と二十日の川瀬神事を繰り広げます。

その宵宮の十九日の晩、笠鉾と屋台八基がはじめて境内に曳き揃えをして、おおぜい集まつた子供たちのために、はじめての「天王柱立て神事」を行ないます。

「天王柱立て」とは、悪疫退散の祈りをこめて祇園・須佐之男の神さまを迎える神事——むかしは町内の辻に「柱松」を立てて、暑熱の疫靈を鎮圧するこの神を迎えたのです。

ことしはこの伝統を新たに復活して、全町内の子供たちの手で神迎え神事をするのです。須佐之男の神が鎮まる日之御崎宮から、平成殿前の天王柱にご神像をお迎えするのです。

むかしの疫病はともかくとして、いまの悪疫は社会悪がもたらすさまざまな危険です。

現代社会の深刻な病弊と危険という新たな悪疫から、地域の子供たちを守りぬこうという共同の誓いと祈りこそが、この古くて新しい「天王柱立て神事」に結集して欲しいのです。

## 解説 秩父神社(22)

彩の国名工會々長

坂本才一郎

### 秩父の祇園祭

祇園祭の総本家である京都の八坂神社では祇園御靈会と称し、清和天皇の貞觀十一年（869）悪疾流行に際して、日本六十六カ国の数にならつた六十六本の鉾を作り、牛頭天王をまつり神泉苑に送つたのが最初という。

この伝え確かな根拠があるわけではなく、確實な文献によると、百年後の天禄元年（970）もしくは天延二・三年



（974・5）ごろに始まつたという。とにかく千年も昔のことと、その間今日と同じ形の祭礼が行なわれてきたわけではない。

八坂神社は江戸時代までは祇園社と称し、疫病退散の威力をもつ牛頭天王を祀つたことが今日の祇園祭が日本を代表する祭りとなり、また国内の至る所で行なわれている祇園祭から広大な御神徳に深い感銘をうける。

祇園御靈会は祇園祭と同じで牛頭天王は印度の広大な仏教の道場祇園精舎の守護神である。関東において祇園祭の最も著名であったのは群馬県世良田の天王社の祇園であつた。天王社（現八坂神社）の縁起によれば新田氏代々の崇敬社で、織田信長も崇拝し、社殿を修造したといふ。

社記によると、「永禄八年（1565）六月七日天王祭いたす」とあり、一応関東でも永禄八年には祇園祭が行なわれたことがわかる。屋台は11台現存し、両側には「はねだし」床を付した歌舞伎屋台で、唐破風の屋根や欄間彫刻に上毛の名工達の至芸がみられるが、現在は街路に飾置くだけで、床上も床下も吹抜けで幕一つないので、昔年の関東一の祇園の面影はない。

秩父市内で伝統ある祇園となると、柄谷の八坂神社の祇園である。笠鉾3基を曳きまわす祇園は他に類例がない。社殿の西側に農村歌舞伎舞台があり、舞台の庭は社殿に向つて緩やかに登り観覧席となつていて、舞台には白木の彫刻づくめ

の芸座（1組）があり、芸座に吊る「みす」に柄の字の刺繡があるの

で、この地で製作した

鉾のうち、上組笠鉾は中近から買入れた笠鉾で、高欄には竜がまりとなり、また立派な笠鉾である。現在の中近笠鉾と対照すると高欄に竜を配す意匠は中近の伝統的意匠と思われる。

### 秩父市街地の祇園

笠鉾4基、屋台4基の計8基もの華麗な山車を子供が中心となつて曳きまわす祇園は全国にない。特におさな子には親がつきそつて賑やかな屋台行事である。

秩父の祇園の山車8基については、祇園精舎の守護神である牛頭天王は山鳩の告によりて大海中の龍王宮にいたり、龍王の第三女と結婚しこれを妃とし、8人の王子を生むという伝承にもとづくものである。

屋台は床上の中央にみすを吊り周囲に彫刻を配した。芸座風な意匠で四方をかこつた構成は祇園祭屋台の特色である。

既に中近や下郷笠鉾に先例はあるが、この神社の神秘的内陣風の構えも、屋台は彫刻を配した。芸座風な意匠で四方をかこつた構成は祇園祭屋台の特色である。既に中近や下郷笠鉾に先例はあるが、この神の乗用車があるので適切な意匠である。屋台は解体組立式で特殊な技法があり、装饰材は麻縄で締結しているが、之



現在笠鉾と称し各地の祭りに見られるのは、竹製の傘の外周に水引幕を吊り、上部に剣や御幣、他の飾り物を付したものである。中国では傘を蓋と称し、皇帝が外出の時は、竜の文様の水引幕を吊つた蓋を頭上にさしかけたのである。祇園の笠鉾の標木に笠をさすことは、高い標木をめがけて神が降臨なされるので、神にさしかける笠であることを理解すべきである。

この様な素晴らしい笠鉾は秩父盆地の中だけにしか存在しないのである。

## 秩父まほろばシンポジウム

### 第一回 「どうする秩父」開催にむけて

宮 司 蘭 田 稔

今年の夏祭りも梅雨明けに恵まれて何とか無事盛大に執行できるようにと祈るばかりですが、ともかくその後始末が済んだころの来たる八月十一日（土曜日）の晩に開催すべく準備をすすめております第一回「秩父まほろばシンポジウム」の趣旨とその概要についてあらかじめご理解を得たいと存じます。

#### ○「秩父まほろば」について

まず、この催しの名前に「まほろば」という古語を使つた理由についてですが、この言葉は、いま盛んに地方の地域振興に使う「ふるさと」という言葉よりも、より積極的に未来をめざした地域づくりを端的に表現する用語だと思うからです。

「ふるさと」も魅力的な古語なのですが、たとえば『万葉集』卷六に「故郷の飛鳥はあれどあをによし平城の明日香を見らくし好しも」（992）という大伴坂上郎女が元興寺の里を詠んだ歌があるように、本来は荒れ果てた古い都やむかしの人里をさしていきます。まさしく『千載和歌集』春の上所載の「さざなみや志賀の都は荒れにしをむかしながらの山桜かな」（よみ人知らず）という風情を表わした言葉ですか、いまの用語はともかくとして懐旧や愛惜の情を含んではいても、あまり未來を見据えた積極的な地域づくり



をイメージするにふさわしくない。なによりも、いまどこの地方でも「ふるさと創成」を言い立てるので、表現の鮮烈さを失つてしまっています。そこで、あえて「秩父まほろば」と表明したのには、二つの理由があります。一つは、やはり『古事記』中巻・景行天皇の条に記す倭建命の国偲び歌「やまとは國のまほろばたたなづく青垣山こもれるやまとしうるはし」とある、その「まほろば」に由来すること。『日本書紀』では同じ歌で「くにのまほらま」とあります。マホラのマは接頭語、ホは秀で優れたもの、ラは接尾語で優れたところの意味、マも接尾語でラマと続くと確実性を示す効果をもつといふことで、ロバもラマの転訛したものですから、マホラマにせよマホロバにせよ「もつとも優れたところ」という意味をもつています。歌の大意からして「やまと」つまり奈良の地が他に抜きんでて素晴らしい国だということですから、「ふるさと」よりも能動的に郷土を愛する気持ちを表現するのに「まほろば」という用語がふさわしいというのが第一の理由なのです。

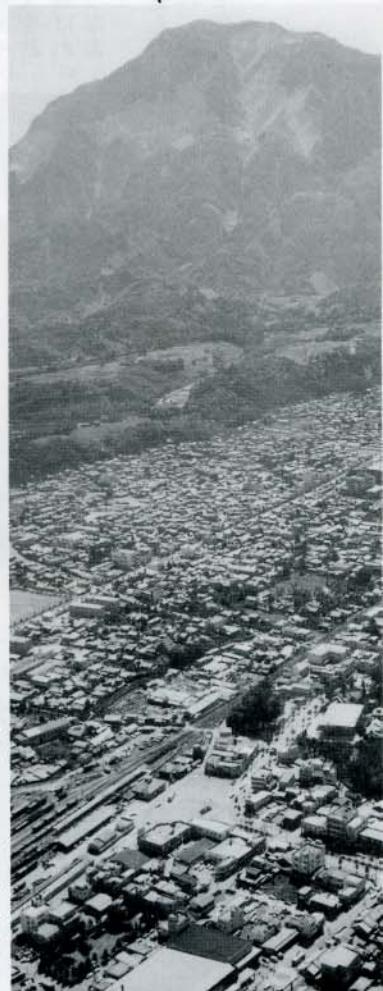
そして二つには、この倭建命の東征物語に関連して記紀には該当する地名の記載はないのですが、それでも東征の帰途に甲斐の国酒折宮をめざしてこの武藏秩父の各地に足跡を残されたという信仰伝承が地元に数多くあるというのが、「秩父まほろば」とするもう一つの理由なのです。その例をあげれば、まず寶登山が古く火止山と称して火防せの眷属信仰がある理由は、倭建命が山上で火攻めに遭われたときにご眷属の靈犬たちが現われて火を消し命を火難から救つたという縁起にもとづいています。また妙見岳とともにいう武甲山にも、倭建命が山頂に甲冑を収めて戦勝を感謝されたのでその名があるという地名伝承もあります。また三峯山の由来も、命が甲斐をめざして尾根越えのと

き妙法、白岩、雲取の三峰を望み見てその尾根に命名されたと伝えられます。秩父には、ほかにも各所の神社由緒や地名伝承に倭建命の巡歴に因んだ由来がまことに豊かであることが、この地を命にあやかつて「國のまほろば」とする理由でもあるのです。

### ○シンポジウム「どうする秩父」について

いうまでもなく、こうして「秩父まほろば」を標榜するからには、われわれ住民が秩父を「國のまほろば」とすることを宣言することありますから、われわれ自身が将来にむけて内発的、主体的に秩父を世に優れた地域に造り上げるという決意の表明もあります。今までのよう、補助金行政や企業誘致を当てにしたり、豊かな自然と文化を自慢しながら目先の利益を追つて先祖の貴重な遺産を安易に食い潰したりといった、とかく他力本願の旦那芸では、もう秩父の地域再興は望めない。このままでは、いざれ荒れ果てた本来の意味の「ふるさと」と化すことはあつても、大都市住民がうらやむような魅力ある「まほろば」とはなりえない。それこそ住民の一人ひとりが何時までも他人まかせでなく、自分が地域興しのために何ができるかを考え、参加し行動することができているのです。そしてしかも頼もしいことに、いまや秩父内外の秩父を愛する人びとが各方面で実に多彩な発言や行動をおこすようになりました。インターネットの普及もあって、今度の小泉政権の誕生にみるよう、従来の組織や世代の枠を超えて課題への意見交換や行動参加が可能になつたのです。

そこでこの機会を好機として、「秩父まほろば」運動の旗揚げになる「どうする秩父」シンポジウムを開催することにしました。実は、一昨年十二月発行の社報第二〇号の論説に提唱した「秩父未来会議」が十人ほどの内外有識者を交えて動きはじめていると



ころですが、その実践活動母体を広く「秩父まほろば大学院」と称して、各自のグループをつくり、そのまま検討すべき課題ごとに自由な意見交換と実践活動のグループを練つて、もとより「大学院」を名乗るのは一種の遊びですが、名前負けにはさせないという気概もあるのです。この運動の一環として今度のシンポジウムも今後年二回ほどのペースで継続するつもりですが、最初の今回はまずこの運動参加への呼びかけであるとともに、現在の秩父地域が抱える具体的な課題を四つほど前面にかかげて参会者が日ごろの思いで直ちに反応できる提案を四人の発題者が用意することになります。

それぞれ課題の切迫性と実践性をみちびくために、秩父ケーブルテレビ社の自主制作番組のタイトル「どうする秩父」を全体の主題に提供してもらい同社の番組編成に乗せながら、「どうする秩父の魅力づくり」という基調講演のあと、「どうする秩父のマチづくり」「どうする未来の武甲山」「どうする秩父の企業おこし」「どうする秩父の人づくり」という四つのテーマの下に各パネラーが秩父の社会、自然、経済、文化について横断的に問題を提起し、軽食休憩をはさんでパネルとフロア一体の意見交換をする予定です。

今回の第一回シンポジウムは、あくまで「秩父まほろば」運動を発進するための課題提起とグレープづくりの呼びかけですので、心ある皆さんには、どうぞ気軽に、またぜひ前向きなお気持ちで参加して下さることを期待しております。

問い合わせ 実行委員会事務局（秩父神社社務所内）  
電話（〇四九四）二二一〇二六二

## 松月古流 御免状伝授式と秩父宮祭奉納華展

月4日、3

松月古流  
一門によ

る伝授式  
が参集殿・

去る  
を数え約百五十年の歴史を有している社  
中でございます。  
また、この度の御免状伝授式、秩父宮  
祭の奉納華に際して家元自ら歌をお詠  
みになりましたので、ここに掲載させて  
頂きます。



約五十名が出席し、次いで伝授式、懇親  
会が行なわれました。

また、5月3日の秩父宮祭に際し、平  
成殿口ビーに於いて社中による奉納華、花  
菖蒲の生花を始め、秩父の野に咲く草花、花  
をして頂き、古流に代表される葉蘭、花器に形  
を青竹の花器に形をうつしロビーに華や  
ぎを添えて頂きました。終日、秩父を訪  
れた多くの参拝者の方々にも大変喜ばれ、  
社中の意気込みが伝わってくるような素  
晴らしい力作を奉納下さいました。

松月古流の流祖は下総葛飾の人是心軒  
一露によつて松月堂古流が創始され、現  
在の家元で七代目

月4日、3  
松月古流  
一門によ  
る伝授式  
が参集殿・  
櫻の間に  
於いて開  
催されま  
した。  
会場に  
は稻垣宗  
善氏（七  
代家元）  
を始め、

### 神殿に一門集う伝授式

柞の杜に太鼓のひびき

みやしろに秩父宮を偲びつ、  
心寄せ合い奉納華ゆかし



## 職員退職挨拶

前主典 柳田耕史



このたび、平成11年度よりお世話を  
になりました秩父神社から実家の柄  
木県真岡市に鎮座する大前神社に戻  
りました。

大学を卒業致しましてから、勉強  
不足で何もわからない私を温かく迎えて頂きました秩父神社大祭「夜祭  
り」を初め、神主としての心構えや祭式、また社会人としての基礎を  
これから神明奉仕に活かして参りたいと思います。なにぶんにも未  
熟で大変ご迷惑をおかけ致しましたことをここでお詫びし、あわせて  
神明奉仕に勤しんでおります。

秩父という土地で学び、体験させて頂きました秩父神社大祭「夜祭  
り」を初め、神主としての心構えや祭式、また社会人としての基礎を  
これから神明奉仕に活かして参りたいと思います。なにぶんにも未  
熟で大変ご迷惑をおかけ致しましたことをここでお詫びし、あわせて  
神明奉仕に勤しんでおります。

大学を卒業致しましてから、勉強  
不足で何もわからない私を温かく迎えて頂きました秩父神社大祭「夜祭  
り」を初め、神主としての心構えや祭式、また社会人としての基礎を  
これから神明奉仕に活かして参りたいと思います。なにぶんにも未  
熟で大変ご迷惑をおかけ致しましたことをここでお詫びし、あわせて  
神明奉仕に勤しんでおります。

前巫女 関口裕美



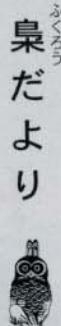
平成3年より10年間、秩父神社の  
大神様にお仕えしてまいりましたが、  
この度退職することになりました。  
この10年間を自分なりに振り返つ  
てみると、月日の経つのは大変早く、  
とても短いように感じられました。  
神社においては、普段なかなか知ることの出来ない祭祀や行事など  
に携わる事ができ、又書道や華道などを習う機会にも恵まれ大変勉強  
になりました。

今まで御指導御鞭撻を頂きました宮司様はじめ神社の皆様、並び  
に氏子崇敬者の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げ



去る3月18・19日の両日、当社宮司をはじめ秩父郡内の神楽関係者57名による、伊勢神宮参拝と新たに始めた外宮神楽殿にて舞楽を見学する研修旅行が行なわれました。伊勢神宮では、外宮神楽殿の老朽化に伴い、凡そ2カ年の歳月をかけ改修工事が進められ、平成12年12月14日に竣工開殿祭が斎行されました。この度の研修旅行では、皇太神宮（内宮）・豊受大神宮（外宮）正式参拝の後、新になつた外宮神楽殿に

## ◆ 秩父郡市神楽関係者 研修旅行のこと



て、舞楽の倭舞（やまとまい）・人長舞（にんじょうまい）・胡蝶（こちよう）の舞を見学させて頂き、また特別に舞に関する質疑応答の時間をもうけて頂き、大変有意義な研修となりました。

## ◆ 秩父神社妙見講

自 平成十三年 二月  
至 平成十三年 六月

二月二十三日 宮側講  
長谷川正雄講元外八十三名

四月十八日 幸手妙見講  
大久保利一講元外四十六名

四月二十五日 倉野妙見講  
豊田ス工講元外三百六十七名

五月一日 上町田妙見講  
前原太郎講元外四十八名

五月六日 近戸講  
市川信雄講元外百五十七名

五月十三日 堀口喜市講元外五百二十六名

五月十四日 川越終講  
横山功講元外十五名

五月二十日 中宮地講  
高野文吉講元外二百四十一名

六月十日 下宮地講  
稻山良守講元外八十五名

六月十日 別所講  
石川直幸講元外百三名

六月十四日 日野田講  
荒船啓介講元外二百三十三名

六月二十三日 下郷講  
島田源作講元外二百五十六名

高畠芳久講元外二百五十七名  
六月二十三日 本町講  
大島孝子講元外百二十四名

## ◆ 新講元就任のお知らせ

下宮地講 稲山 良守  
熊木講 高畠 芳久 様

右の方々が、本年度より当社講元に就任されました。  
今後とも宜しくお願ひ致します。

## ◆ 職員辞令

|           |               |
|-----------|---------------|
| 主典 柳田 耕史  | 願いにより職を       |
| 巫女 関口 裕美  | 免ず<br>願いにより職を |
| (三月三十一日付) |               |

石川啄木

目に慣れし  
山にはあれど  
秋来れば  
神や住まんと  
かしこみてみる

## 表紙歌解説

『一握の砂』の「秋風のこころよさに」に収められている詩であります。

山に関連したことの解説になつてしまいますが、秩父にとっての山とは「武甲山」。秩父の人々にとって、「武甲山」という山には何か特別な思いがある様に感じます。もちろん、それは秩父の神体山であり、秩父の里を豊かにしてくれた存在は言うまでもありません。

今回の表紙は、秩父市中宮地にお住まいの画家近藤寿一郎先生の作品「柄本の夏」を掲載させて戴きました。先生は、麦秋の季節を好まれ、特に麦の色が大変鮮やかなこの季節、毎年この地を訪れてはスケッチをされるそうです。柄本の畑は、秩父でも独特な形をしており大変傾斜がきついことから「斜畑」（なぞえはた）と呼ばれ、現在では主に麦や蒟蒻がつくられています。山の「青」と斜畑の「みどり」が大変印象に残るこの作品は、私達に何か懐かしい古き良き日本の風景を感じさせ、心がなごむようあります。

R299や西武鉄道で横瀬あたりから武甲山の姿がみえると、あー秩父に着いたとだれもが思うことでしょう。その時の心の安堵感は、私達秩父の人々にとって、かけがえのない親の様な存在にも思えるのです。

# 秩父神社神楽ヨーロッパ公演

## KAGURA

Japanese traditional sacred dance and music in Shinto shrines



## 神 樂



### TWO KAGURA TROUPES PERFORM IN LONDON !

Date: Monday, 3rd of September, 2001 Time: 18:30  
Place: Brunei Gallery Auditorium, SOAS, The University of London, near Russell Square  
Organised by: SOAS Centres for the Study of Japanese Religions

#### Admission Free

Contact: International Shinto Foundation's European Head Office  
Tel/Fax: 01933-485278 or Tel: 01372-478750 E-mail: shinto@spipnet.com

This Kagura Dance is authorised as an official Japan 2001 event.



民芸能である神楽を広く欧州の人々に紹介するため今回の神楽公演が企画されました。

またイギリスにおいては、ヨーロッパにおける日本研究で有名なロンドン大学東洋アーリー研究学院が、英日修好400年記念

つとして日本の庶民芸能である神楽を広く欧州の人々に紹介するため今回の神楽公演が企画されました。

またイギリスにおいては、ヨーロッパにおける日本研究で有名なロンドン大学東洋アーリー研究学院が、英日修好400年記念

この度、秩父神社の国指定無形民俗重要文化財「秩父神楽」と福岡県豊前市に鎮座する嘯吹八幡神社の福岡県指定民俗無形重要文化財「豊前神樂」による「二大神楽ヨーロッパ公演とシンボジウム」が実施されることになりました。期間は8月30日から9月9日の11日間とし、当社から宮司、他職員1名、神楽師11名が参加する予定です。

公演は、ノールウェイ国オスロ・イギリス国ロンドン・イタリア国ローマの三都市で行なわれます。

オスロでは、8月30日から9月3日まで、ヨーロッパの日本・韓国研究者学術会議があり、この会議のテーマの一

式行事として、この二大神楽公演が認定され紹介されることになりました。

そして、ローマでは神楽が神社の年中行事に結びついた芸能であることから、ローマ教皇庁諸宗教対話評議会でも関心を寄せられ、カトリック教会を会場に二大神楽が上演されることとなり、異宗教文化融和の観点からも大きな意義があるものとおもわれます。

また、この度の「二大神楽ヨーロッパ公演」に際しまして、現在応援団を募集しております。詳しくは秩父神社社務所までお問い合わせください。

## 職員結婚報告

## 編集後記

権禰宜 綱野直久



去る四月二十三日、大神様の大前において、横瀬町に住まいする、邊見敏

十三号をお届けいたします。  
■夏は、陽の盛んな季節、育みの季節。すべての命が、勢いよく躍動する季節です。しかし、その反面、食物などは傷みやすく、体調を崩し病気にかかりやすい季節でもあるのです。

■本年、天王柱立て神事に際して、子供たちに粽(ちまき)が配られました。悪疫除けの印である粽には、むかし須佐之男命が旅の途中、一夜の宿を求めた時、貧しい蘇民将来の家でうけた温かいもてなし、その後お返しとして蘇民将来の「子孫たち」には疫病などで患わないよう、お守として茅ノ輪を腰に付けさせたのが、

固めることができます。氏子・崇敬者の皆様の幸せを御神前に願う中執り持ちとして、先ず我が足元を

まだ若輩者ですが、皆様の御叱咤・激励を仰ぎ、神前奉仕に邁進致す所存でございます。

今後とも、変わらぬ御教示を賜りますよう御願い申し上げます。

権禰宜 伏見 博樹

小雨降りしきる水無月の二十四日、当秩父神社宮司蔵田稔・成子様御夫妻の御媒酌により、荒川村小野原在住、澤井莊司の長女 和子と婚儀を挙げさせています。

氏子崇敬者の方々を始め、地元皆様方の尚一層の御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



■川瀬祭りの神様の御加護のもと、夏の厳しい暑さに負ないよう、これから21世紀を担う子供たちの成長と共に願うものであります。

平成十三年(2001)七月二十日  
編集発行 秩父神社務所  
〒356-0101 埼玉県秩父市番場町一-13  
TEL(0494)22-10262  
FAX(0494)24-15596  
印刷所 有限会社 拡文社印刷所  
〒356-0104 秩父市東町二七一八